

第5回 十勝川外減災対策協議会 議事概要

日時：平成30年7月9日（月）10:30～12:00

会場：音更町 共栄コミュニティセンター 大集会室

委員：33名

帯広開発建設部長、北海道十勝総合振興局長、北海道十勝総合振興局副局長、釧路地方気象台長、帯広市長(防災担当調整監)、音更町長（副町長）、士幌町長、上士幌町長、鹿追町長（副町長）、新得町長、清水町長（総務課長補佐）、芽室町長、中札内村長、更別村長（副村長）、大樹町長（副町長）、広尾町長（副町長）、幕別町長、池田町長、本別町長、足寄町長（副町長）、陸別町長、浦幌町長、北海道警察釧路方面本部警備課長、帯広警察署長（地域官）、池田警察署長（警備係長）、本別警察署長（警備係長）、新得警察署長（警備係長）、広尾警察署長（警備係長）、とちろ広域消防局長（消防局次長）、日本放送協会帯広放送局長（副局長）、北海道旅客鉄道株式会社取締役釧路支社長、北海道電力株式会社新得水力センター所長、電源開発株式会社東日本支店上士幌電力所長

※豊頃町長、陸上自衛隊第5旅団司令部第3部長は欠席

※括弧内は代理出席

<議事内容>

- ・十勝川外減災対策協議会規約改定（案）について
- ・幹事会の報告について
- ・取組方針に基づくフォローアップについて
- ・今後のスケジュールについて
- ・情報提供（「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画、洪水危険度分布、新得町長からのトップフォーラム報告）
- ・その他（十勝岳における火山の活動状況）

<議事概要>

池田町長 西日本の災害を踏まえ、浸水エリア等今後の取組みについて全国的に見直しされる予定については如何か。

事務局 これまで施設の計画規模を超えた想定最大規模の場合にどのように行動すべきかを議論してきた。また、平成28年の出水状況を踏まえて、地球温暖化による降雨の増加傾向をどのように計画に反映させるか現在検討中であり、その結果を全国にフィードバックして今後どのように整理していくか議論が進められているところである。その結果を踏まえ、十勝川でも計画雨量を見直すべきか今後検討がなされると考えている。また、今回の降雨については今後、治水計画及び防災にどのように反映させるか議論がなされるものと考えている。

- 池田町長 気象情報について、情報が密になってきており、感謝している。
これまでの雨量と河川水位の関係も情報が蓄積されてきていると思うが、国民の皆様には危機感が伝わるように、これらの関連性についてデータを解析した内容を情報提供できるよう研究等して頂ければと思う。
- 気象台長 危険度分布は水位計のデータを取り込んだものではない。今後の課題である。現在多くの河川に水位計が整備されてきているが、全ての河川に整備されるのは難しいかと考えている。そのような中小河川においても気象庁のホームページでは町の何処が危険な状況にあるのか危険度分布により示しており、この分布を参考にパトロール等に活用頂ければと思う。
また、気象状況等については、气象台・測候所に遠慮なく問い合わせいただき各市町村の判断に活かしていただきたいし、状況に応じて气象台・測候所からお知らせさせていただくこともある。
- 事務局 河川管理者として関係機関との実測した水位情報の共有をおこなっている。それに加え、水位の上昇の予測に応じたホットラインやリエゾンを通じた自治体への情報提供により、早め早めの避難準備、勧告、指示の発令を行って頂き、人命確保に努めていく。